

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	1. 尊厳の保持 一人一人が歩んでこられた人生と意向を踏まえて、尊厳を忘れず個別性を意識し、満足感を得られる利用者本位のケアを行います。説明と同意の徹底、自由と選択肢があるケアをしていきます。 2. 自立支援 障がいが見える、見えないにかかわらず、生活の主体者としてご自身がその人らしく生活の維持・継続が実現できるよう、利用者様の持っている力を信じ、可能性を引き出す関わりをします。 3. 安全と安心の提供 利用者様の健康と幸せを常に考え、安心と安全が生活の土台になることを忘れません。高齢者の特性や医学的基礎知識などの介護専門職として必要な知識・技術を身につけ、状態や状況に応じた適切なケアを行います。無理や不安定な姿勢でのケアは行いません。 4. チームケア 私たちは目的を持ったチーム（組織）として、問題解決力を高めていきます。24時間・365日、一人一人のご利用者様の一年を昨日から今日、今日から明日へとつなげられるよう、情報共有と多職種連携を通して利用者様の生活を支えます。
事業所名	あったかほーむ御嶽堂	管理者	佐野 康平		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	行ったカンファレンスを迅速にケアプランに反映しサービスの質の向上を目指す。	ケアプランに反映するまでに時間を要してしまった。	特になし。	カンファレンスを定期的開催しケアの質を向上させる。
B. 事業所のしつらえ・環境	- 毎月の行事は欠かさず実施する。 - 利用者「様」であることを再度認識し丁寧な言葉遣いを心がけ、利用者様にとって居心地の良い場所を提供する。	- 必ず毎月、行事を実施することができた。 - 利用期間が長くなると、友達言葉を使用してしまうことが見受けられた。	毎月の広報誌で、利用者様が楽しまれている様子を確認することができた。	季節を感じられる飾りつけや行事を毎月企画し実行していく。

C. 事業所と地域のかかわり	● 回覧板を活用して事業所の情報発信を行い、地域の方々により興味を持っていただく。	● 回覧板を活用することができなかった。	● 地域の活動も減少傾向であり、利用されている方が参加できるような行事を行うことが困難となってきた。	● 地域の行事に参加する。また、地域の方が参加できる事業所のイベントを企画し地域交流を図っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	● ボランティア等の地域資源を活用し、多くの方が関わる事業所にしていく。	● ボランティアの方にご協力いただき、複数回事業所での行事を企画することができた。	● どういったことができるのか、社内で情報共有をしてみよう。	● ボランティアセンターや民生委員さんのご協力を得ながら、利用者様が地域から切り離されないよう支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	● 職員にも交代で運営推進会議に参加をしてもらい、地域の中に事業所があることを再認識してもらう。	● 管理者以外の職員が運営推進会議に参加することはできなかった。	● 特になし。	● 地域の方々と情報交換をしながら開かれた事業所になるよう努める。また、職員も交代で運営推進会議に参加できるようシフトを調整する。
F. 事業所の防災・災害対策	● 早めに事業所での避難訓練の計画を立案し、地域の方々にも参加をしていただき一緒にやる。	● 避難訓練の計画が実施間際の立案になってしまい、地域の方々に参加していただくことができなかった。	● いつ災害が発生するかはわからないため、一回でも多く地域住民が避難訓練に参加できる体制を作った方がよいのではないか。	● 業務継続計画を定期的に見直す。災害時に事業所が地域の中でどういった役割を果たせるのか検討、地域の方々と情報交換を行う。